

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信[日本基準](連結)

2025年11月4日

上場会社名 太陽化学株式会社

上場取引所

名

コード番号 2902

URL https://www.taiyokagaku.com/

(氏名) 山崎 長宣

代表者

(役職名) 代表取締役社長

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部管掌兼ウェルネ (氏名) 山崎 長俊 ス推進本部管掌

TEL 059-340-0802

半期報告書提出予定日

2025年11月5日

配当支払開始予定日

2025年12月2日

決算補足説明資料作成の有無

: 無

決算説明会開催の有無 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	26,023	4.2	3,608	21.7	3,876	27.5	2,391	6.2
2025年3月期中間期	24,986	1.9	2,963	20.3	3,041	14.4	2,252	30.8

(注)包括利益 2026年3月期中間期 2,773百万円 (43.8%) 2025年3月期中間期 1,928百万円 (27.4%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円銭	円銭
2026年3月期中間期	141.72	
2025年3月期中間期	132.80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	65,088	53,641	80.0
2025年3月期	62,019	52,116	81.4

(参考)自己資本

2026年3月期中間期 52,094百万円

2025年3月期 50,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭		
2025年3月期		10.00		72.00	82.00		
2026年3月期		20.00					
2026年3月期(予想)				63.00	83.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日~2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株主に 当期純		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	51,000	1.9	6,000	3.4	6,000	8.7	4,000	13.5	237.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2.中間連結財務諸表及び主な注記(3)中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	23,513,701 株	2025年3月期	23,513,701 株
2026年3月期中間期	6,629,301 株	2025年3月期	6,645,108 株
2026年3月期中間期	16,876,539 株	2025年3月期中間期	16,957,896 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その 達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1)当中間期の経営成績の概況	2
(2)当中間期の財政状態の概況	3
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1)中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結包括利益計算書	
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業の賃上げによる所得環境の改善が行われるなど、穏やかな景気回復基調の動きが見られましたが、東欧・中東地域における紛争の長期化、円安や物価高、不安定な国際情勢の影響により、依然として先行きが不透明な状況にあります。

当社事業の主要分野であります食品業界におきましては、健康需要の増加により堅調に推移しましたが、継続的な物価上昇による個人消費の低迷など、企業を取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)は、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化 (グローバル化)
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、260億23百万円(前年同期比4.2%増)となりました。営業利益は、36億8百万円(前年同期比21.7%増)となりました。経常利益は、38億76百万円(前年同期比27.5%増)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、23億91百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン(緑茶抽出物)、テアニン(機能性アミノ酸)、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、アジア市場は減少しましたが、国内及び米国市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

カテキンは、国内、アジア及び米国市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

ミネラル製剤は、国内、アジア及び欧州市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

テアニンは、国内及び欧州市場は減少しましたが、米国市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、82億57百万円(前年同期比15.7%増)、営業利益は、18億70百万円(前年同期比52.2% 増)となりました。

■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤等の品質改良剤を 製造、販売しております。

一般食品用途は、国内及びアジア市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

化粧品、トイレタリー用途は、欧州市場は減少しましたが、国内及びアジア市場が増加しました結果、売上高は 前年を上回りました。

飲料用途は、国内及びアジア市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、71億23百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は、10億96百万円(前年同期比5.7%増) となりました。

■ ナチュラルイングリディエント事業

乳製品、飲料、菓子、パン、総菜、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、 農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、めん用途、惣菜向け等の粉末卵・液卵加工品が減少しましたが、調味料用途等向けの液卵・粉末卵が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

即席食品用素材は、国内向け用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

安定剤は、惣菜用途、冷菓用途及びデザート用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、105億56百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益は、6億14百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

■ その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は、86百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は、25百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して30億69百万円増加して650億88百万円となりました。主な資産の変動は、現金及び預金の増加16億76百万円、受取手形及び売掛金の増加8億3百万円、電子記録債権の増加1億31百万円、商品及び製品の増加1億20百万円、原材料及び貯蔵品の増加2億7百万円、有形固定資産その他(純額)の増加3億21百万円、投資有価証券の増加3億98百万円、建物及び構築物(純額)の減少2億38百万円、機械装置及び運搬具(純額)の減少3億円です。

負債は、前連結会計年度末に比較して15億44百万円増加して114億46百万円となりました。主な負債の変動は、 支払手形及び買掛金の増加6億13百万円、未払法人税等の増加8億43百万円、賞与引当金の増加4億68百万円、役 員退職慰労引当金の減少2億47百万円、流動負債その他の減少2億4百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比較して15億25百万円増加して536億41百万円となりました。これは主に、親会 社株主に帰属する中間純利益23億91百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加1億93百万円、為替換算調整 勘定の増加1億70百万円、配当金の支払による減少12億15百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の81.4%から80.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月7日の「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1)中間連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10, 563, 950	12, 240, 399
受取手形及び売掛金	10, 655, 089	11, 458, 660
電子記録債権	593, 778	725, 685
商品及び製品	5, 945, 211	6, 065, 571
仕掛品	839, 671	783, 252
原材料及び貯蔵品	3, 457, 705	3, 664, 794
その他	778, 032	809, 840
貸倒引当金	△37, 092	△36, 985
流動資産合計	32, 796, 347	35, 711, 220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9, 111, 203	8, 872, 336
機械装置及び運搬具(純額)	5, 433, 340	5, 132, 988
土地	8, 167, 230	8, 166, 345
その他(純額)	809, 726	1, 131, 291
有形固定資産合計	23, 521, 500	23, 302, 961
無形固定資産	125, 887	149, 613
投資その他の資産		
投資有価証券	5, 219, 428	5, 617, 980
その他	369, 000	319, 758
貸倒引当金	△12, 950	$\triangle 12,950$
投資その他の資産合計	5, 575, 479	5, 924, 789
固定資産合計	29, 222, 867	29, 377, 363
資産合計	62, 019, 214	65, 088, 584

(単位:千円)

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5, 362, 939	5, 976, 804
未払法人税等	175, 211	1, 018, 971
賞与引当金	285, 251	753, 665
役員退職慰労引当金	286, 180	_
その他	2, 250, 039	2, 045, 265
流動負債合計	8, 359, 622	9, 794, 706
固定負債		
長期借入金	358, 106	356, 573
退職給付に係る負債	37, 099	19, 531
役員退職慰労引当金	265, 136	303, 665
その他	882, 806	972, 488
固定負債合計	1, 543, 148	1, 652, 257
負債合計	9, 902, 771	11, 446, 964
純資産の部		
株主資本		
資本金	7, 730, 621	7, 730, 621
資本剰余金	7, 369, 942	7, 380, 760
利益剰余金	39, 703, 877	40, 873, 136
自己株式	$\triangle 7, 165, 690$	△7, 148, 639
株主資本合計	47, 638, 751	48, 835, 878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1, 819, 985	2, 013, 423
繰延ヘッジ損益	△18, 130	21, 258
為替換算調整勘定	1, 030, 450	1, 200, 806
退職給付に係る調整累計額	1, 575	23, 348
その他の包括利益累計額合計	2, 833, 880	3, 258, 836
非支配株主持分	1, 643, 811	1, 546, 904
純資産合計	52, 116, 443	53, 641, 620
負債純資産合計	62, 019, 214	65, 088, 584
, , v—		20, 200, 001

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

親会社株主に帰属する中間純利益

(単位:千円) 当中間連結会計期間 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 (自 2025年4月1日 2024年9月30日) 2025年9月30日) 至 至 売上高 24, 986, 708 26, 023, 938 売上原価 17, 919, 540 18, 113, 232 売上総利益 7, 067, 168 7, 910, 705 販売費及び一般管理費 4, 103, 530 4, 302, 501 営業利益 2, 963, 637 3, 608, 204 営業外収益 受取利息 41,927 26, 385 61,796 受取配当金 58,022 持分法による投資利益 28,965 60,000 69,700 為替差益 69, 928 その他 104, 561 営業外収益合計 198, 843 322, 443 営業外費用 支払利息 7,433 11,418 貸与資産減価償却費 24, 201 23, 935 75, 318 為替差損 19,007 14, 367 その他 営業外費用合計 121, 321 54, 361 経常利益 3, 041, 160 3, 876, 286 特別利益 固定資産売却益 1,744 投資有価証券売却益 218,907 特別利益合計 220,651 _ 特別損失 固定資産除売却損 3, 223 4, 221 役員退職慰労金 240, 519 3, 223 特別損失合計 244, 741 税金等調整前中間純利益 3, 258, 588 3, 631, 545 法人税等 1, 100, 541 909, 116 中間純利益 2, 349, 471 2, 531, 004 非支配株主に帰属する中間純利益 97, 450 139, 192

2, 252, 021

2, 391, 811

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

		(11=47
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	2, 349, 471	2, 531, 004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114, 377	192, 640
為替換算調整勘定	△323, 867	$\triangle 12,050$
退職給付に係る調整額	2, 523	21,773
持分法適用会社に対する持分相当額	14, 474	40, 187
その他の包括利益合計	△421, 247	242, 549
中間包括利益	1, 928, 224	2, 773, 553
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1, 886, 471	2, 816, 767
非支配株主に係る中間包括利益	41, 752	$\triangle 43,213$

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用 後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

- I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

						(十四:111)
		報告セグ			中間連結	
	ニュー トリション 事業	インター フェイュー ソリュン ショ業	ナチュラル イングリ ディエント 事業	計	その他 (注) 1	中间建結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
日本	3, 276, 183	6, 237, 895	8, 983, 946	18, 498, 024	72, 599	18, 570, 624
アジア	471, 409	685, 982	1, 629, 683	2, 787, 076	9, 099	2, 796, 176
アメリカ	2, 500, 435	34, 690	_	2, 535, 125	_	2, 535, 125
欧州	887, 853	196, 929	_	1, 084, 782	_	1, 084, 782
顧客との契約から生 じる収益	7, 135, 881	7, 155, 497	10, 613, 630	24, 905, 009	81, 699	24, 986, 708
その他の収益	_	_	_	_	_	_
外部顧客への売上高	7, 135, 881	7, 155, 497	10, 613, 630	24, 905, 009	81, 699	24, 986, 708
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	_	_	_
計	7, 135, 881	7, 155, 497	10, 613, 630	24, 905, 009	81, 699	24, 986, 708
セグメント利益	1, 229, 139	1, 037, 630	670, 696	2, 937, 465	26, 172	2, 963, 637

- (注) 1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。 2.セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 - Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

			中間洋外			
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリュン ション 事業	ナチュラル イングリ ディエント 事業	計	その他 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
日本	3, 115, 045	6, 073, 414	8, 942, 991	18, 131, 450	77, 581	18, 209, 032
アジア	654, 061	867, 263	1, 613, 538	3, 134, 863	8, 756	3, 143, 619
アメリカ	3, 528, 816	58, 955	_	3, 587, 772	_	3, 587, 772
欧州	959, 178	124, 334	_	1, 083, 513	_	1, 083, 513
顧客との契約から生 じる収益	8, 257, 102	7, 123, 967	10, 556, 529	25, 937, 599	86, 338	26, 023, 938
その他の収益	_	_	_	_	_	_
外部顧客への売上高	8, 257, 102	7, 123, 967	10, 556, 529	25, 937, 599	86, 338	26, 023, 938
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	_	_	_
計	8, 257, 102	7, 123, 967	10, 556, 529	25, 937, 599	86, 338	26, 023, 938
セグメント利益	1, 870, 694	1, 096, 950	614, 808	3, 582, 453	25, 751	3, 608, 204

⁽注) 1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。 2.セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。